

SANUS®

VMF518壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 34kg以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

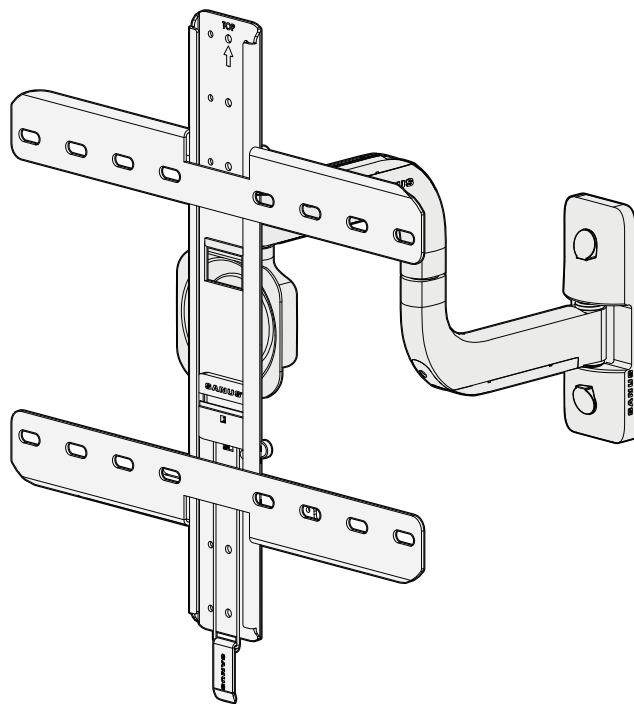
この度は、VMF518の壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
VMF518は37V型～55V型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ

〒557-0045 大阪市西成区玉出西2丁目16-3

ネットワークジャパン株式会社 TEL 06-6105-0707 / FAX 06-6105-0708

<http://www.network-jpn.com/> E-mail : info@network-jpn.com

安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。



注意 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)



人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)

警告



禁止

壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。VMF518壁掛金具は、37V型～55V型で、総重量34kg以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。

これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。

又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。

この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。



工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。

専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。



取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。

強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。



荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。

強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。



湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。

又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



禁止

組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。

ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。

指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。

テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。

又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。



取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。

足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。

尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。



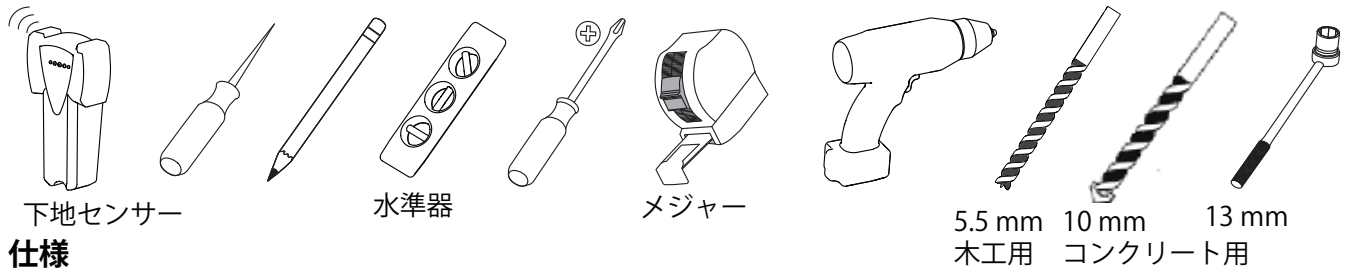
壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。



ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



仕様

耐荷重 : 34kg (テレビと付属品を含みます) ※左記を超過しないようにして下さい。
 適応テレビサイズ : 37V 型 ~ 55V 型

ティルト調整 : ±12°
 左右首振り角度 : ±90°

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意してください。

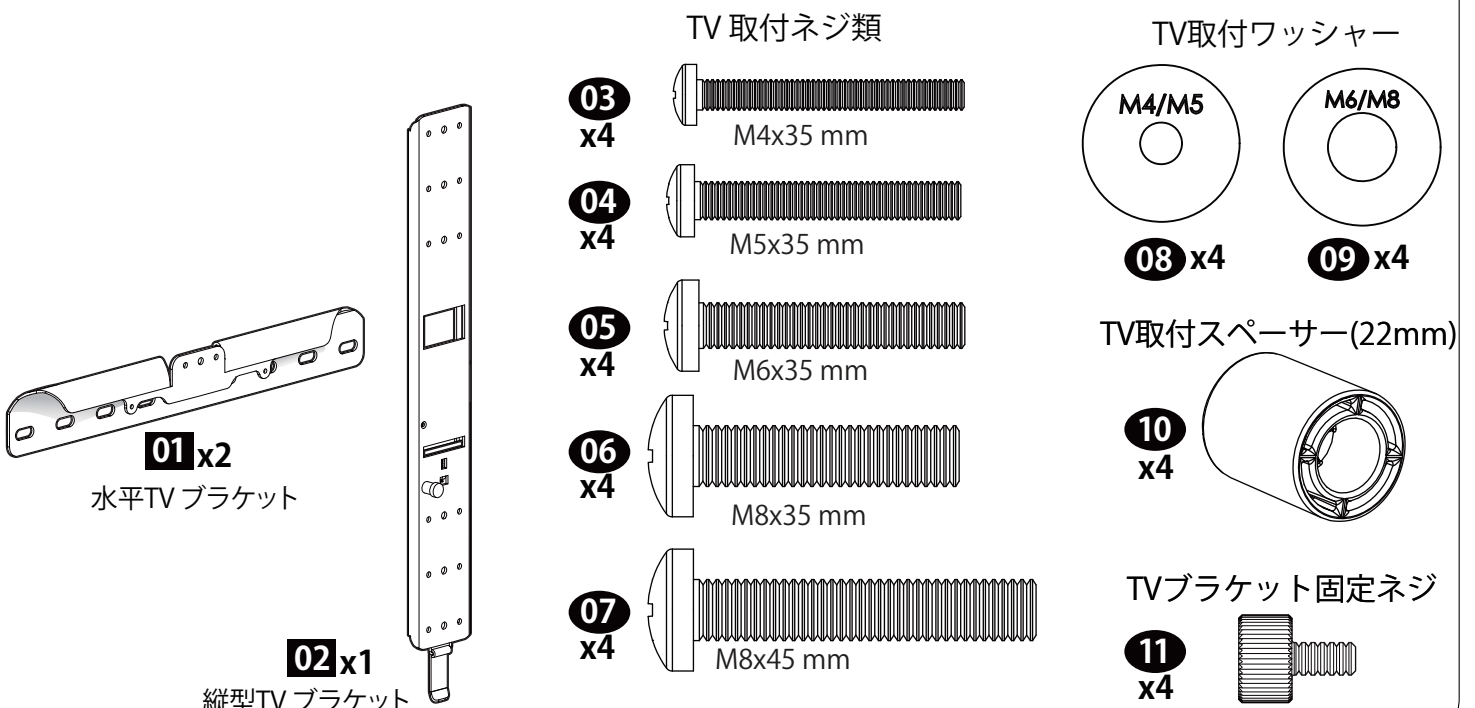
- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他ご質問がある場合は、ネットワークジャパン (株) 又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

STEP 1 で使用する部品類

警告 : 本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン (株) までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。

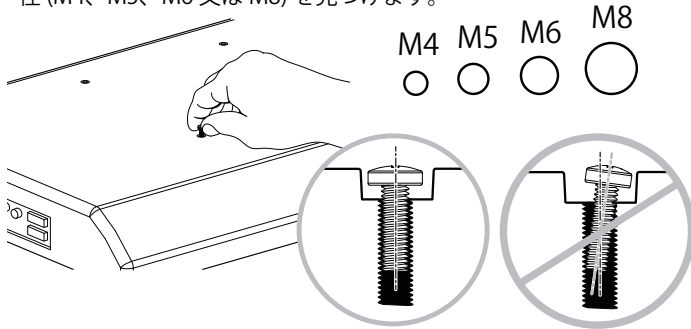
注記: M4、M5、M6、又は M8 は直径を指し、mm は「M# X ##mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品をすべてを使用するわけではありません。



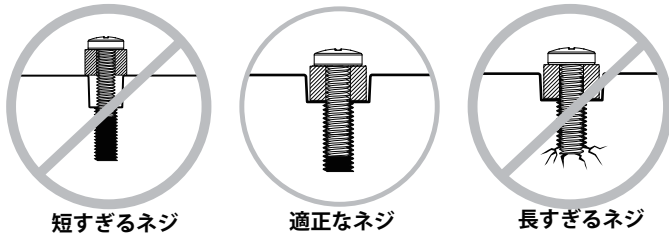
STEP 1 ブラケットをテレビに取り付ける

1-1 テレビ取付用ネジの口径と長さの選択

お使いのテレビの形状によって、使用する部品が決まります。テレビの背面のネジ穴に手でネジを入れて、適合する正しいネジの直径 (M4、M5、M6 又は M8) を見つけます。



⚠ 注意 ご使用のテレビに対して、ネジやスペーサーを組み合わせて、適正なネジ山のかみ合わせを確認して下さい。首下の短いネジは、テレビを十分保持できず、首下の長すぎるネジは、テレビの内部に損傷を与える恐れがあります。
※テレビのネジ穴の深さにより、スペーサーを使う必要の無い場合もあります。



⚠ 注意: ケガをしたり、テレビを破損しないように注意してください。同梱のネジ以外の長さのネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意ください。

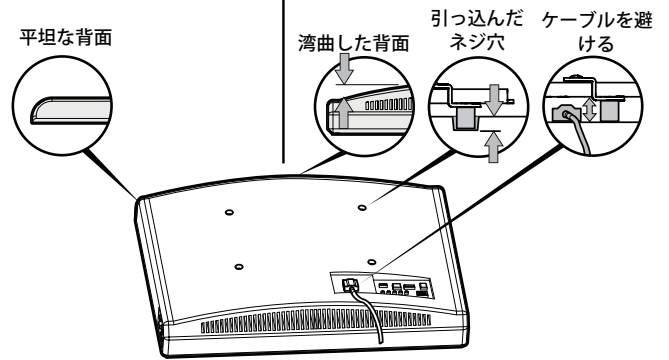
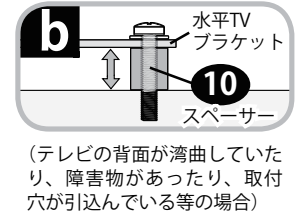
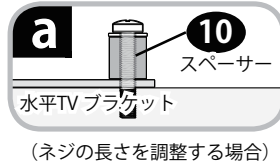
1-2 スペーサーの取付方法

付属のスペーサーを使う場合は下図の取付方法を確認し、状況にあった取付方法を選択してください。(TV 背面の形状や状況により、TV ブラケット取付時のスペーサーの位置を選択します。)

※テレビのネジ穴の深さにより、スペーサーを使う必要の無い場合もあります。

スペーサーを TV ブラケットの上に置く

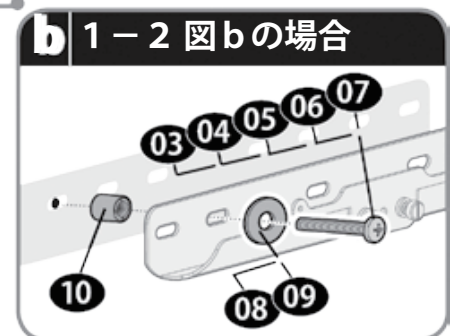
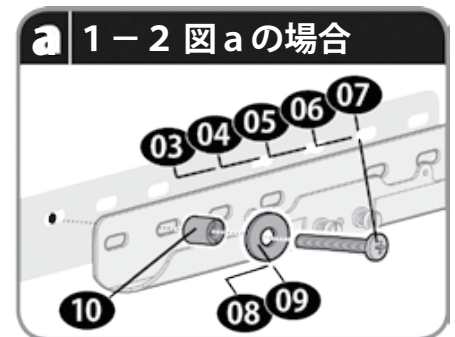
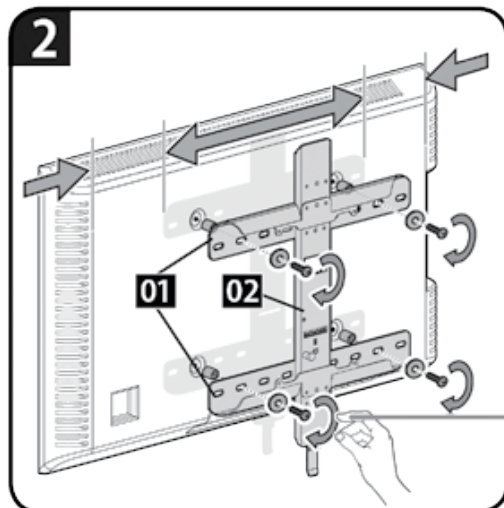
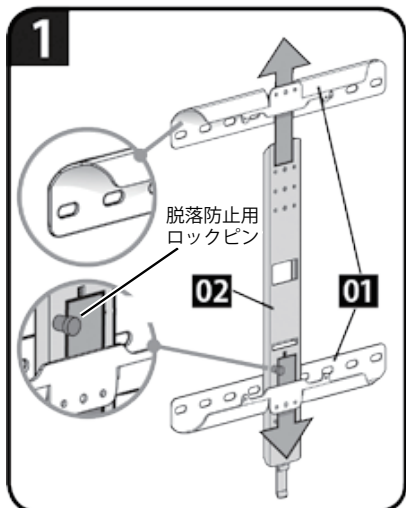
スペーサーを TV ブラケットの下に置く



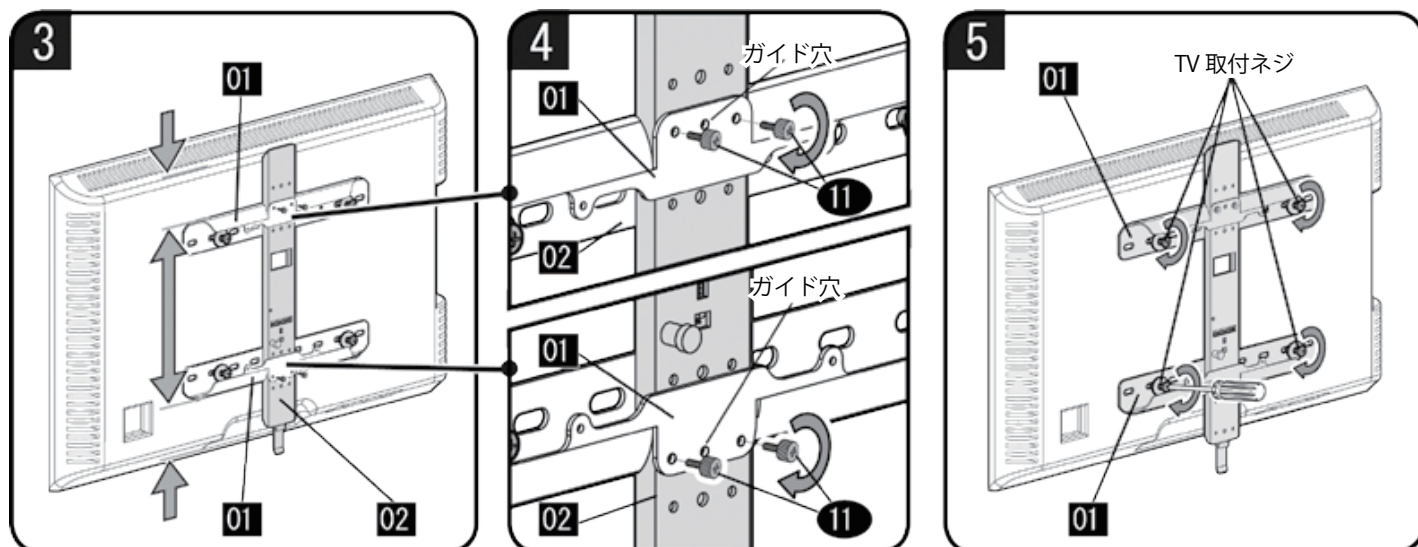
1-3 テレビにブラケットを取付ける

1) 下図の様に水平TV ブラケット[01]を、縦型TV ブラケット[02]に差し込んでおきます。このとき、縦型TV ブラケット[02]は「脱落防止用ロックピン」の付いている方が下側になるように差し込んでください。

2) 次に、水平TV ブラケット[01]とテレビ側の壁掛金具取付用のネジ穴をあわせて、前項1-2 (a もしくは b) で選択した取付方法でネジを差し込んでTV ブラケットをテレビ背面に仮止めしてください。



- 3) 縦型TV ブラケット[02]がテレビ背面上下の中心に来るよう調整します。
- 4) 先に上部の水平TV ブラケット [01] の位置を決定し、TVブラケット固定ネジ[11] で固定します。固定する位置は、中心のガイド穴から縦型TVブラケット[02] のガイド穴が揃う位置を見つけて固定します。
- 5) 下部の水平TV ブラケット [01] をガイド穴と縦型TV ブラケット[02]のガイド穴が揃う位置を探し固定します。
- 6) 最後に前項(4ページ) の2) で仮止めしていたTV取付ネジを締め付けてください。



STEP2 壁掛金具を壁面に取付ける

木柱壁 に取り付ける場合は、6 ページの STEP 2 A に従って固定します。

コンクリート壁 に取り付ける場合は、8 ページの STEP 2 B に従って固定します。

STEP 2で使用する部品類



警告 :本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。

組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認してください。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン（株）までご連絡ください。破損した部品は絶対にご使用にならないでください。



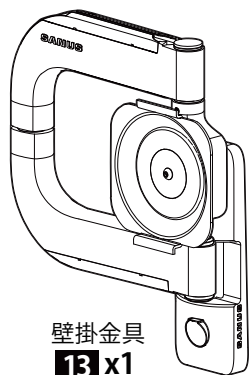
警告 :水準器には磁石が含まれています。

ペースメーカーや埋め込み型除細動器（ICD）等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも13センチ以上離して下さい。又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。



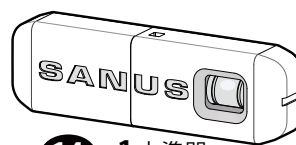
壁掛金具型紙

12 x1

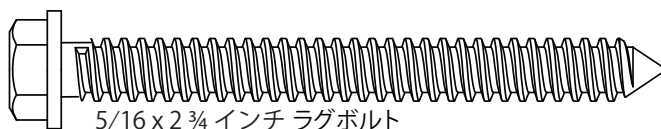


壁掛金具

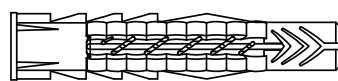
13 x1



14 x1 水準器



5/16 x 2 3/4 インチ ラグボルト
15 x2



16 x2 コンクリートアンカー

注記 :付属の部品をすべて使用するわけではありません。

参考 :水準器 [14] は、水平度を確認する為にお使い下さい。

なお、海外住宅向けに内蔵の磁石で釘などの金属を探知して、柱位置を見つける機能もありますが、国内では壁面構造が異なるのでご使用頂けません。

STEP 2 A

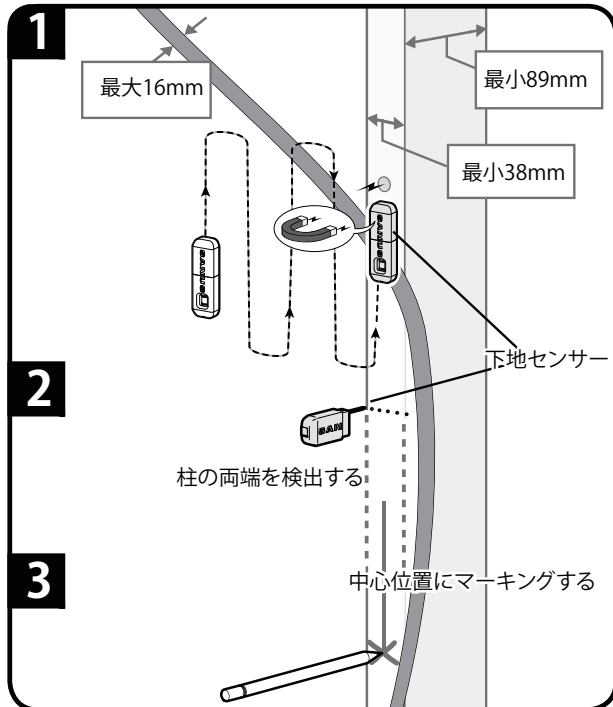
壁掛金具を取り付ける --- 木柱への取付例 ---

警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。
なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件：★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16mm以下にしてください。

★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅38mm 奥行き89mm以上が必要です。

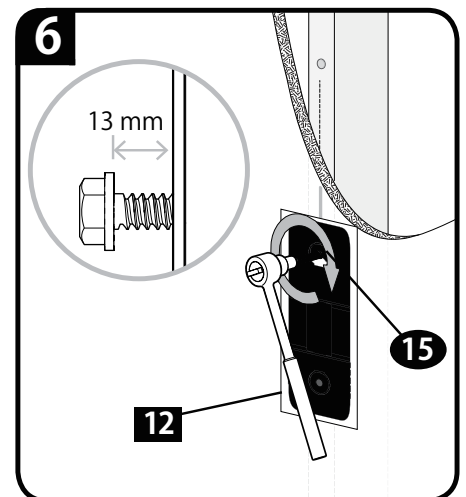
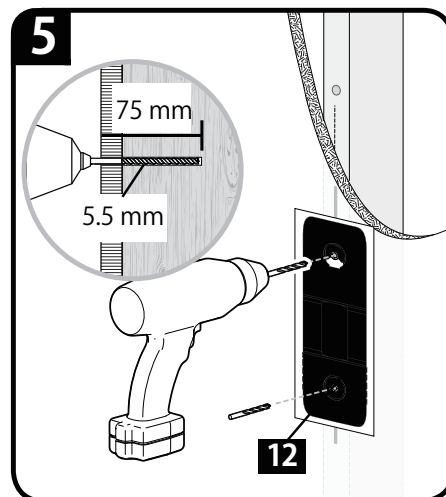
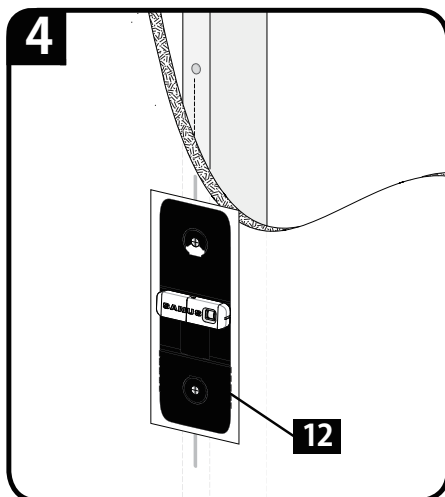
★ 柱の中心位置は、必ず確認してください。各家屋毎の柱の寸法は必ずしも規格のサイズではありません。



注記: 下地センサー(木柱センサー)は壁の中にある下地材をセンサーで感知して知らせてくれるものです。

左記の1～3は、下地センサーを用いた柱位置検出方法の一例です。詳細はご使用の下地センサーの取扱説明書に従って下さい。

1. 下地センサーや、千枚通しや、細い釘などを使って、左図のように柱の位置を確認します。
2. 下地センサーを左右に動かすと、柱の端を検知するので、マーキングします。
3. 二つのマーキング(両端)から柱の中心位置にマーキングを付けます。



4. 壁掛金具の型紙 [12] をご希望の高さで、且つ穴位置は柱の中心線上に配置します。型紙 [12] を水準器 [14] で水平度を確認してから、テープで壁面に仮に貼り付けます。

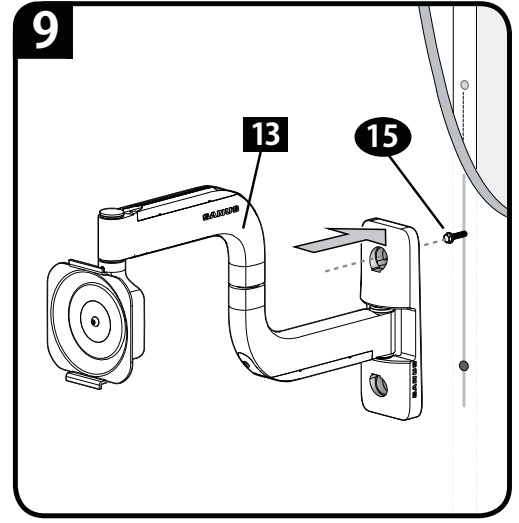
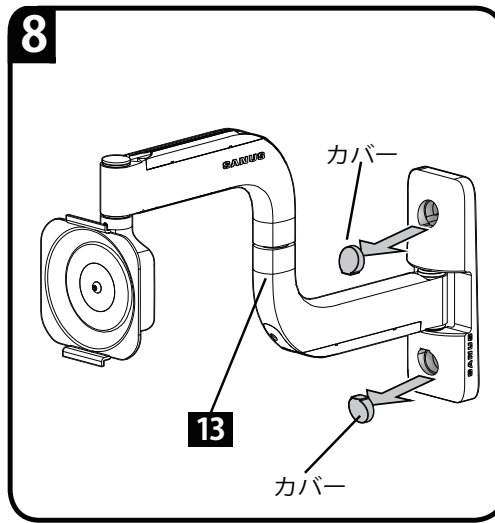
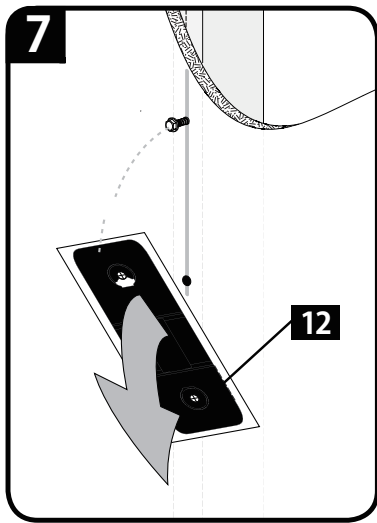
重要: マーキングして下穴を開ける時は、必ず柱の中心線上でなければなりません。

5. 柱の下穴は、5.5mm 径のドリルビットを使って、おおよそ 75mm の深さに穴を 2 箇所開けます。

6. 上部のネジ穴に、ラグボルト [15] を、壁面から約 13mm 程度のスペースを残して、仮に取り付けます。

注記: この 13mm のスペースは、型紙 [12] を取り除いたり、壁掛金具 [13] をラグボルト [15] にぶら下げ易くする為のものです。

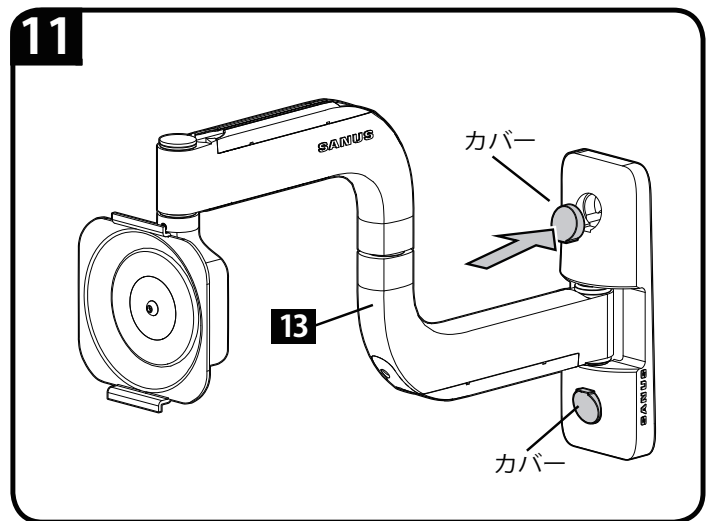
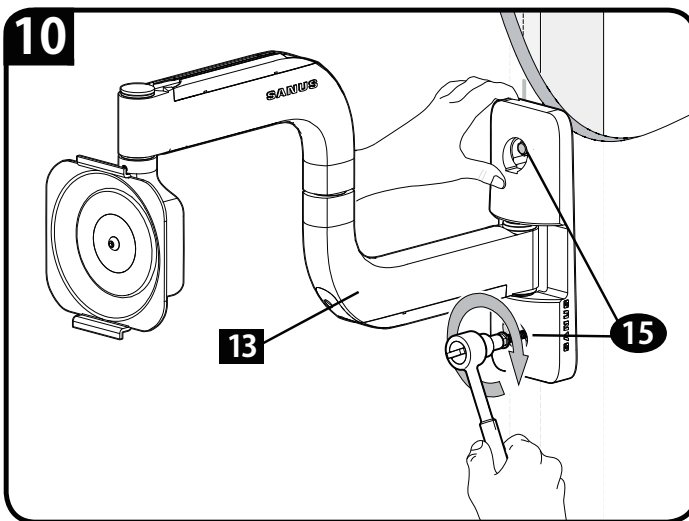
警告: 水準器 [14] には、磁石が含まれています。ペースメーカーや埋め込み型除細動器 (ICD) 等の移植医療デバイスを使用中の場合、磁場がこれらの機器の動作に影響を与えて、重傷を負ったり死亡を招く恐れがあります。
もしお客様が、これらの移植された医療機器をお持ちの場合は、お使いのデバイスと磁石との間を少なくとも 13センチ以上離して下さい。又この器具を使用される前に、かかりつけの医師や医療専門家にご相談ください。



7. 型紙 [12] を取り除きます。

8. 図の様に壁掛金具 [13] の上下のカバーを取り外して、取付穴が見えるようにします。

9. 壁掛金具 [13] の上部のネジ穴を、仮取付けしたラグボルト [15] の上にぶら下げます。



10. 壁掛金具 [13] の下部のネジ穴に、ラグボルト [15] を使用し取り付けます。次に両方のラグボルト [15] を壁掛金具 [13] がしっかりと引っ張り込まれるまで締めつけて、壁掛金具 [13] を固定します。

注意：ラグボルト [15] を締め付ける時、壁掛金具 [13] が所定の位置からずれないように、しっかりと支えて下さい。

適切に作業しないと、ラグボルト [15] でしっかりと支えることができません。またこのとき、必要以上にラグボルト [15] を締めつけ過ぎないようにご注意ください。

11. 上下のネジ穴にカバーを取付けます。

次は、9 ページの STEP3 に進んで下さい。

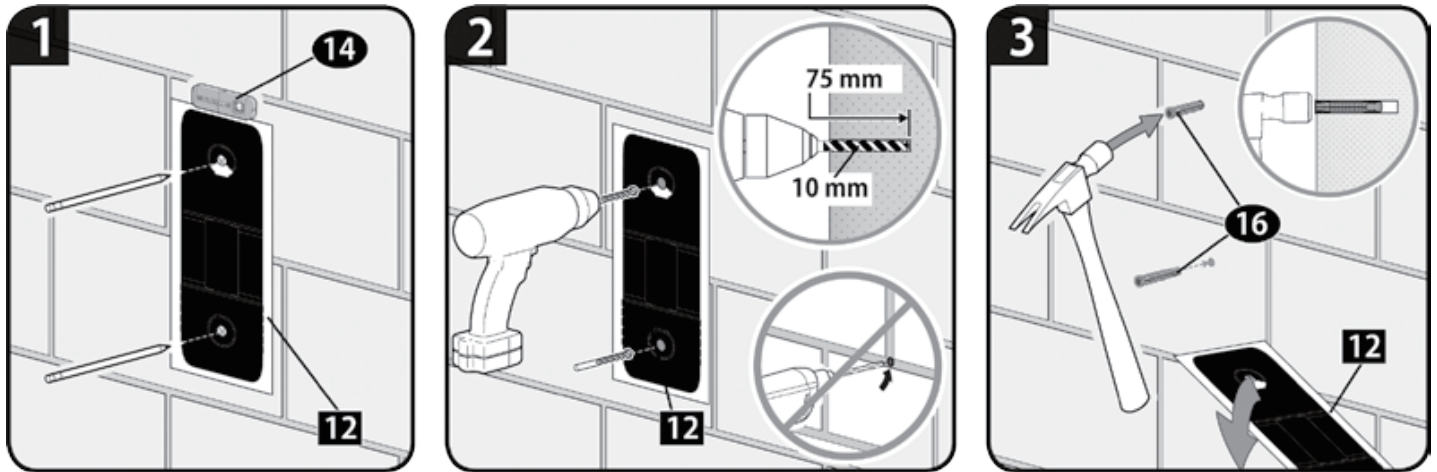
STEP 2B

コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

⚠ 警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「コンクリート又はコンクリートブロック壁面」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

なお、本壁掛金具は、空洞のあるコンクリートブロックや下記の基準以下の厚みの壁面、鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件： ★ 壁掛金具[13] は、直接コンクリート又はコンクリートブロック表面に取り付けて下さい。
★ コンクリート壁面の使用可能な最小厚さは、203mm 必要です。
★ コンクリートブロックの使用可能な最小のサイズは、203 X 203 X 406mm 必要です。
(空洞のあるものには使用できません。)



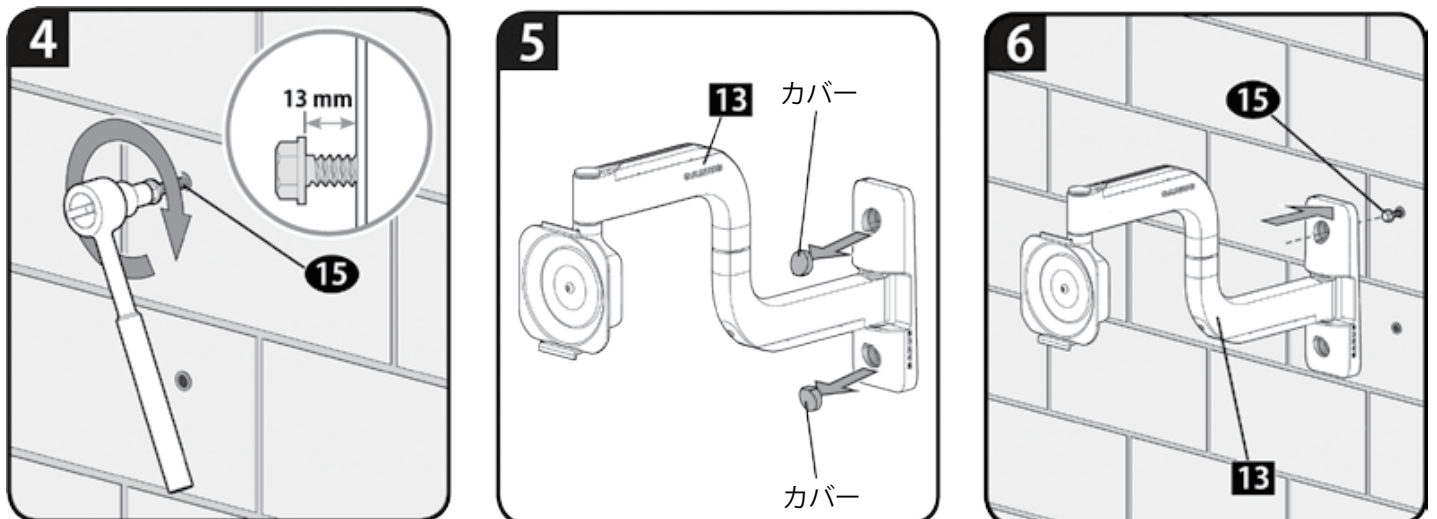
1. 壁面の希望の高さに、壁掛金具の型紙 [12] を配置します。型紙は水準器 [14] で水平を確認してから、穴位置に2箇所
のマーキングを付けます。

2. 下穴は、10mm 径のドリルビットを使って、おおよそ 75mm の深さに穴を2箇所開けます。

重要: ブロックの間のモルタル部は、取り付け強度が保てないのでドリルで絶対穴を開けないで下さい。

3. 型紙 [12] を取り除いてから、2個のコンクリートアンカー [16] を壁面に挿入します。

重要: コンクリートアンカー [16] は、コンクリート壁面と同一平面に取り付いている事を確認します。



4. 上部の2つのネジ穴に、ラグボルト [15] を、壁面から約 13mm のスペースを残して、仮に取り付けます。

注記: この13mmスペースは、壁掛金具 [13] をラグボルト [15] にぶら下げ易くする為のものです。

5. 図の様に壁掛金具 [13] の上下のカバーを取り外して、取付穴が見えるようにします。

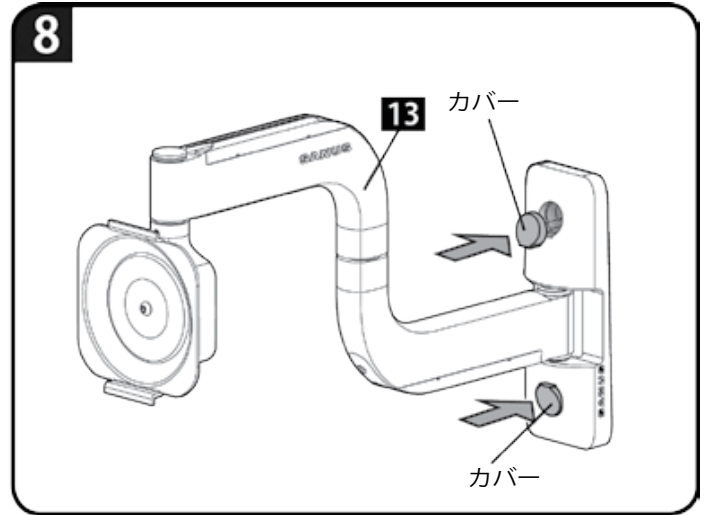
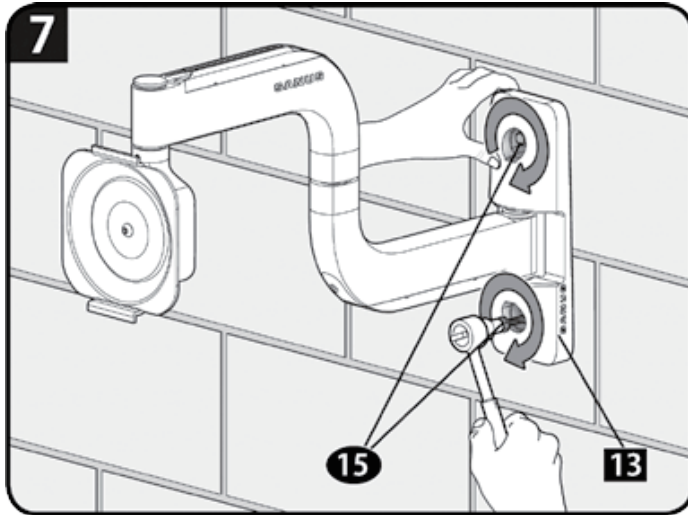
6. 壁掛金具 [13] の上部のネジ穴を、仮取り付けしたラグボルト [15] の上にぶら下げます。

7. 下部のネジ穴に、ラグボルト [15] を使用し壁掛金具 [13] を取り付けます。次に上下両方のラグボルト [15] を壁掛金具 [13] がしっかりと引っ張り込まれるまで締めつけて、壁掛金具 [13] を固定します。

注意：ラグボルト [15] を締め付ける時、壁掛金具 [13] が所定の位置からずれないように、しっかりと金具を固定して作業を進めてください。

適切に作業しないと、ラグボルト [15] でしっかりと支えることができません。またこのとき、必要以上にラグボルト [15] を締めつけ過ぎないようにご注意ください。

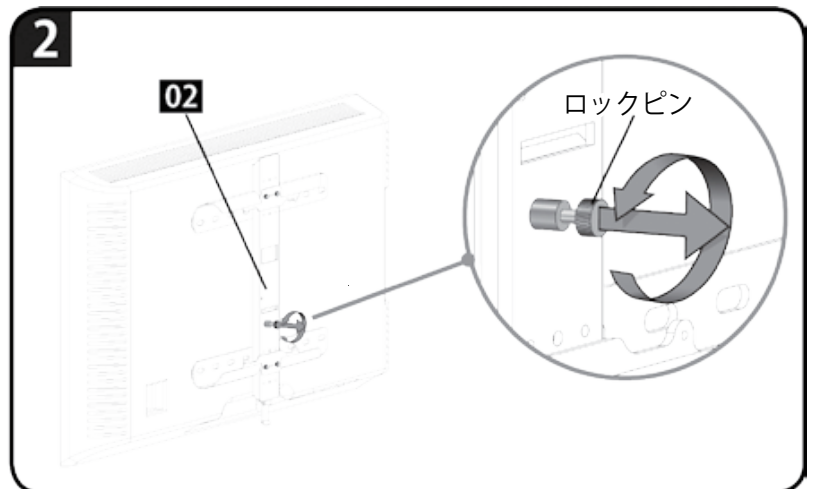
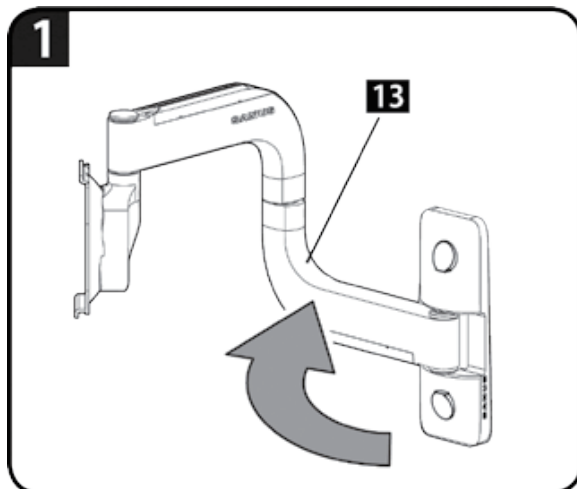
8. 上下のネジ穴にカバーを取付けます。



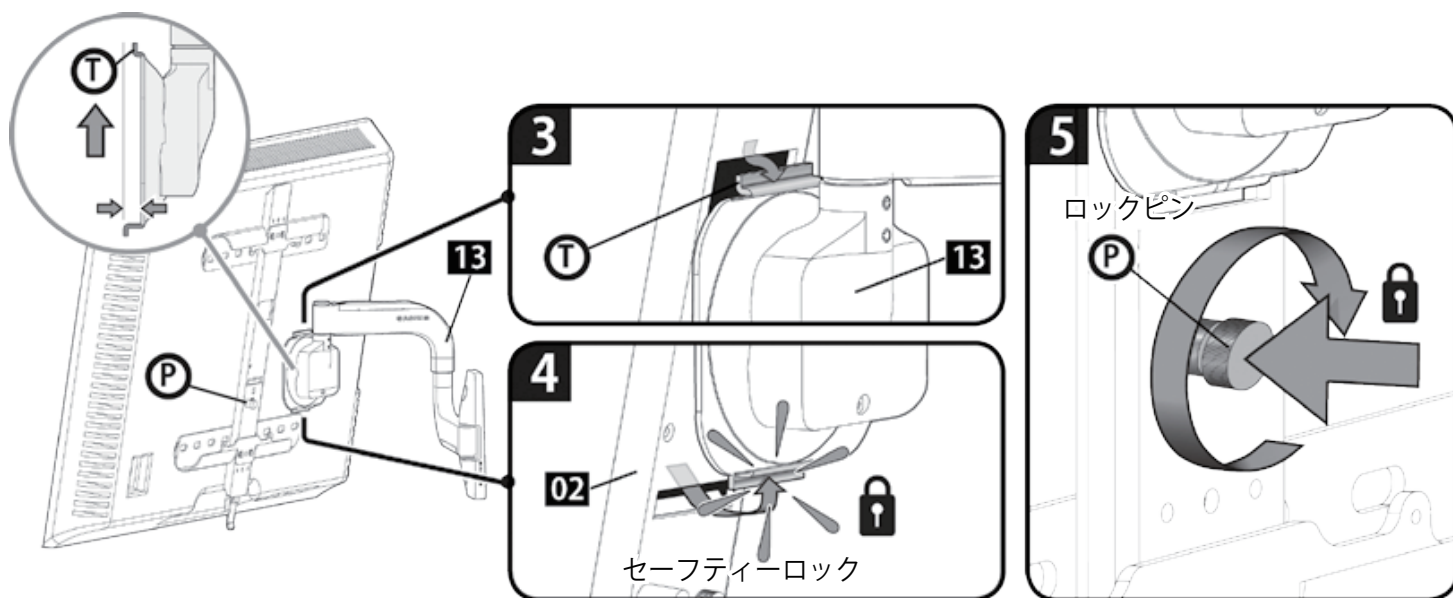
STEP3 テレビを壁掛金具に取り付ける



注意 重量があります！
この作業は二人以上で行ってください。



1. 壁掛金具 [13] のアーム部を作業しやすい位置に引き出します。
2. 縦型 TV ブラケット [02] の下部のロックピンを引張って反時計回りに半回転以上回すと引き出した状態で固定できます。

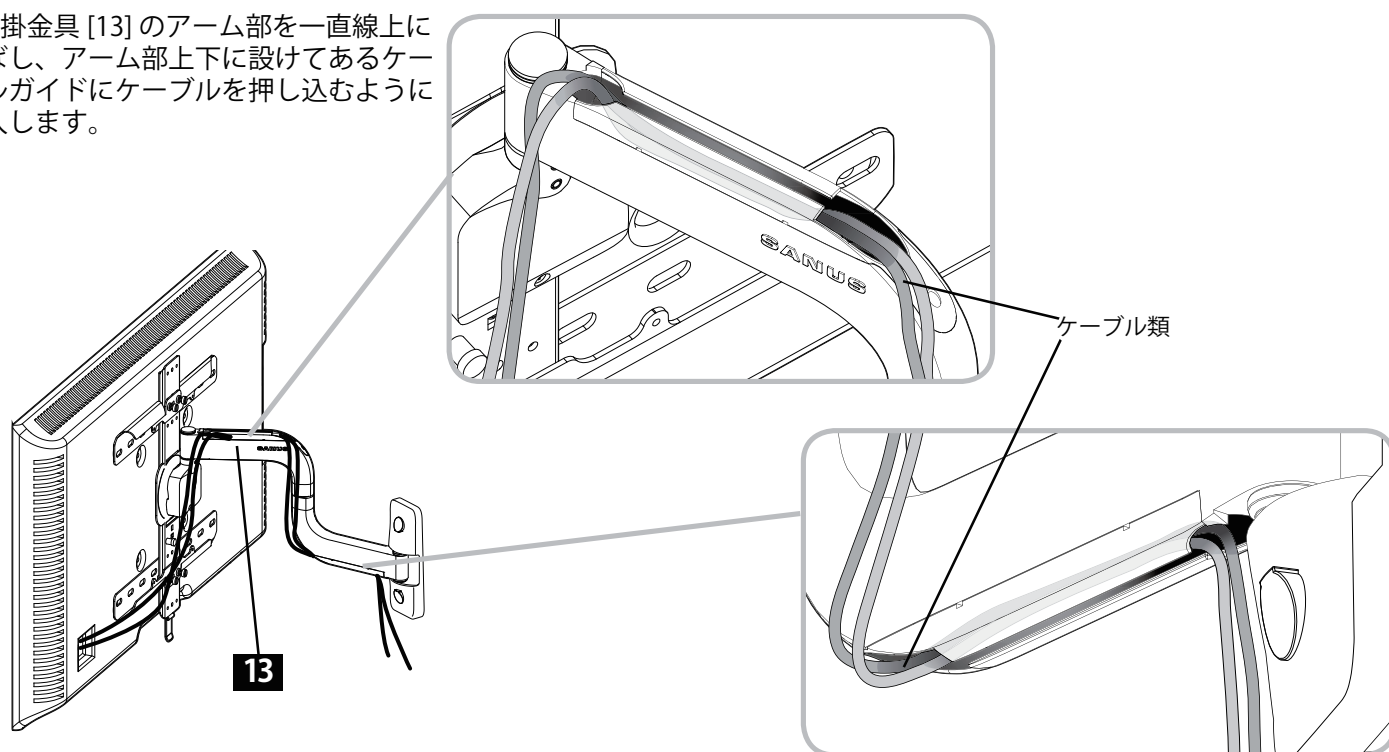


3. 壁掛金具 [13] のアーム部先端上部の爪を縦型 TV ブラケット [02] の上部のフック部に差し込みます。
4. 壁掛金具 [13] のアーム部先端下部の爪を縦型 TV ブラケット [02] の下部のセーフティーロック部に押し込んでロックを確認して下さい。
5. 縦型 TV ブラケット [02] の下部のロックピンを引張って時計回りに少し回すと少しロックピンが元に戻りセーフティーロック部の不意の解除を防ぎます。

⚠ 警告: セーフティーロックがしっかりと掛かり、ロックピンが戻ってセーフティーロックが外れないようになっていることを確認して下さい。地震等の振動でセーフティーロックが外れるとテレビが脱落する危険があります。

ケーブルの整理

壁掛金具 [13] のアーム部を一直線上に伸ばし、アーム部上下に設けてあるケーブルガイドにケーブルを押し込むように挿入します。

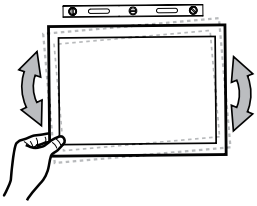


注意: アームを動かした時にケーブルが無理に引張られない様に余裕をもってケーブルを整理してください。

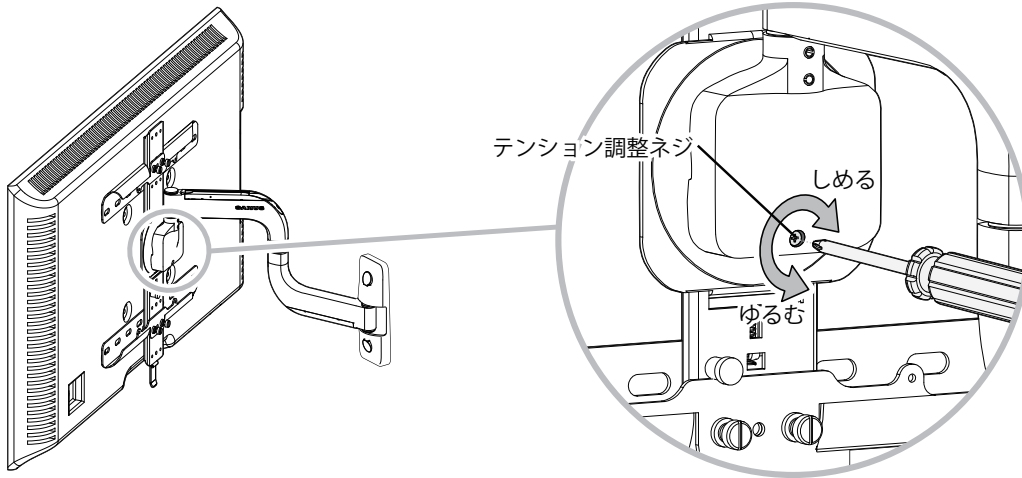
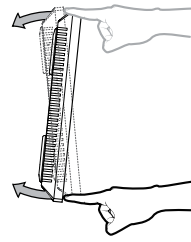
角度調整

本金具は、下図のようにテンション調整ネジを緩めることにより、指先の軽い力で水平・ティルトの調整が出来ます。ご希望の角度に調整した後、テンション調整ネジを締めて角度が変わらないように固定してください

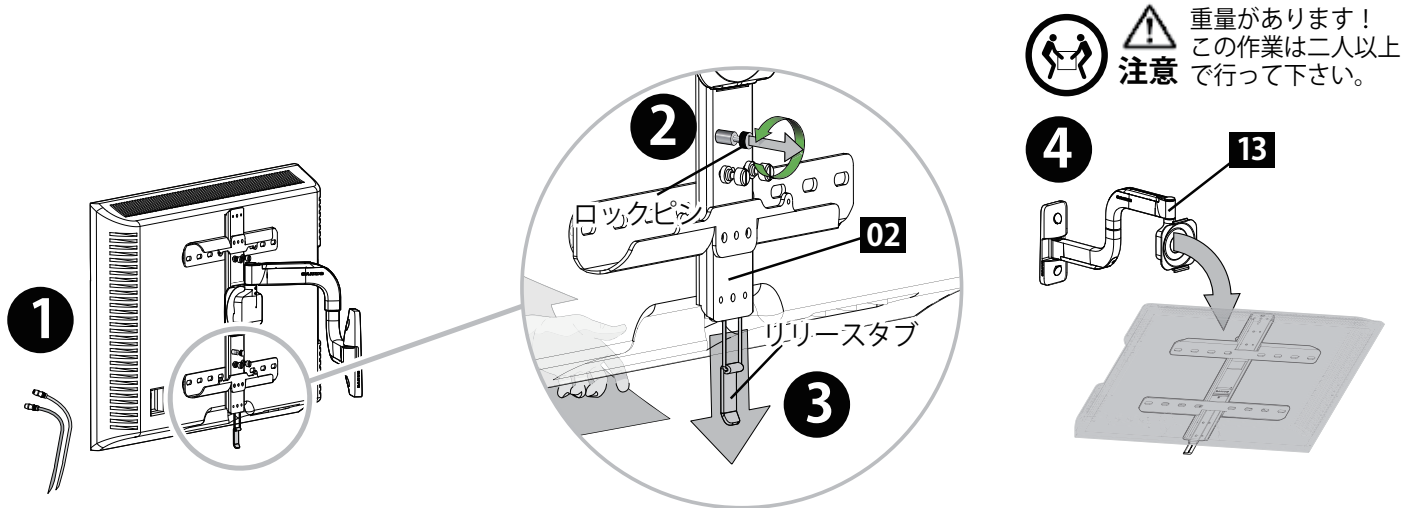
水平度調整



ティルト調整



テレビの取り外し



1. テレビにつながっているコード類をテレビからはずします。
2. 縦型TV ブラケット[02]の下部のロックピンを引張って反時計回りに半回転以上回して引き出した状態で固定します。
3. リリースタブを引き下げると壁掛金具[13]下側のロックが解除され、壁掛金具[13]からテレビが取り外せるようになります。
4. テレビを取り外す際は、必ず大人2人以上でテレビの両側を支えながらテレビを壁掛金具[13]から取り外してください。

外觀圖

單位：mm

